

千葉財務事務所(庁舎)の歴史を紹介します～旧軍財産と庁舎利用～

【プロローグ】～財務局発足当時の庁舎の状況～

太平洋戦争の終結に伴い、大蔵省（財務局）は多くの旧軍財産（土地・建物等）を引き継ぎました。昭和24年に国税部門と分離して発足した現在の財務局（及び財務部）は、旧軍財産を改築等して庁舎として使用するケースが多くありました。そして千葉財務事務所の庁舎も、元々は旧陸軍（千葉連隊区司令部）の建物を転用して庁舎として利用していたのでした…

【千葉財務事務所庁舎の概要と歴史】

(住居表示) 千葉県千葉市中央区椿森5-6-1

(敷地面積) 5,937.02㎡

(建物) 本棟・別棟：RC造2階建



【千葉財務事務所に関する三二年表】

年月日	主な出来事
昭和6年1月(1931)	旧陸軍（千葉連隊区司令部）が現在の千葉市椿森に移転
～ 昭和20年8月 太平洋戦争終戦 ～	
昭和22年8月(1947)	東京財務局千葉地方部が千葉連隊区司令部跡に移転
昭和24年6月(1949)	東京財務部千葉支部に改組（現在の財務局の発足）
昭和25年5月(1950)	関東財務局千葉財務部に改称
昭和41年5月(1965)	千葉財務部庁舎建替え（現庁舎本棟）※別棟は53年増築
昭和59年10月(1984)	関東財務局千葉財務事務所と改組

関東財務局公式マスコット
いつときゅい犬



昭和12年の地図で、千葉財務事務所の位置を見てみると、「連隊区司令部」の記載が確認できます。



【戦時中の千葉市の状況※2】

千葉市内、特に轟町・作草部・椿森・弁天地区は、かつて「軍隊の町」と言われるほど多くの軍事施設が集積していました。現在の千葉財務事務所が所在する場所には旧陸軍「千葉連隊区司令部」が置かれ、千葉県下の徴兵、動員、招集、在郷軍人の指導等が行われていました。

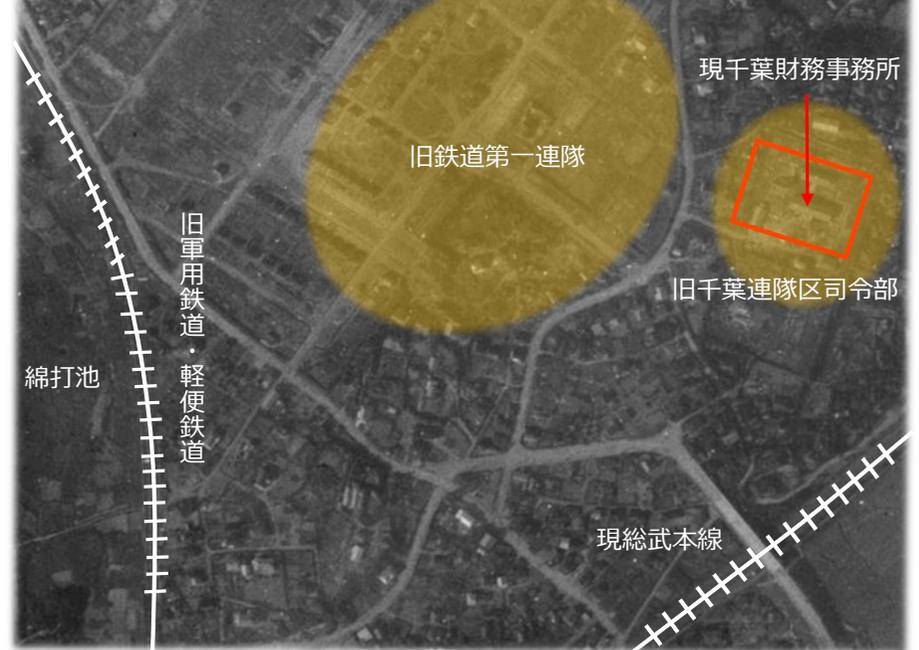
椿森には、他にも「千葉陸軍病院跡」「鉄道大隊記念碑」などの戦跡が点在しています。

※2 参照資料：千葉市 平和啓発パンフレット「考えよう 平和の大切さ」（令和7年6月発行）
※3 出所：千葉市デジタル平和資料館「千葉空襲写真パネル」のうち『千葉連隊区司令部』
<https://www.city.chiba.jp/digitalheiva/sensounokioku/documents/chibarentaikusireibu.pdf>



【千葉連隊区司令部の新聞記事（千葉日報）※3】

【航空写真（昭和22年撮影）※4】



※4 出所：国土地理院HP掲載の航空写真を千葉財務事務所で加工（白字・白線・赤線・黄色着色等を追記。追記した内容はそれぞれの施設の大まかな位置を参考に示すものであり、正確な位置関係を示したものではありません。）

旧陸軍の遺構と庁舎の変遷

① 【旧庁舎の正門（撮影時期不明）】



正門の門柱（3本）は、旧軍財産（千葉連隊区司令部）の名残で、今でも門柱として使用されています。



② 【旧陸軍の境界標】



旧陸軍が設置した境界標（御影石）があります。

※境界標は、土地の境界を現地に示す標識。



②境界標
【敷地入口】

③-1 【旧庁舎建物の全体写真（撮影時期不明）】



昭和41年に現在の庁舎に建て替えるまで、千葉連隊区司令部の建物を庁舎として使用していました。当時は、木造平屋建て（一部2階建）でした。

千葉連隊区司令部として使用していた頃の写真(右)と千葉財務事務所庁舎として使用していた頃の写真(上)を比べると、正面玄関の造りが異なっています。



【千葉連隊区司令部の前庭（在郷軍人会千葉支部記念写真帖（昭和15年11月）※5）】

※5 出所：千葉市デジタル平和資料館「千葉空襲写真パネル」のうち『千葉連隊区司令部』

【千葉財務事務所敷地概要図】



③-2 平成29年に庁舎外壁を改修。改修後の外壁の色合いは、千葉県の花「菜の花」をイメージしたクリーム色と名産品であるピーナツ色のツートーンをイメージ（※6）。



【外壁改修前は白を基調とした庁舎（平成28年撮影）】

※6 参照資料：関東財務局時報（2018年4月号）

④【職員による庭づくり(昭和42年撮影)】



～新庁舎の庭は我らの手で～
庁舎建替後に行った築庭の造成工事では、事務所職員も造成作業に従事しました。

庭には多行松(5本)が植えてあり、池では約100匹の金魚を飼育しています。